

1	(1) 5 3 6 4	(2) 6 4 7	(3) 5 0 0	(4) 2 5 4 4
	(5) 2 7 7 2	(6) 1 6 3 2	(7) 5 1 8	(8) 3 6 5 1
	(9) $\frac{66}{73}$	(10) ㊦ 2 (L)	(11) ㊧ 1 9 2 (mL)	(12) 1 2 6 (m)
	(13) 1 4 2	(14) 1 5 0 0 (円)	(10)完答)	

2	(1) 0	(2) 2 6 個	(3) 1 6 9
---	-------	-----------	-----------

3	(1) 3 個	(2) 2 個	(3) 3 5 個
---	---------	---------	-----------

4	(1) 2 0 0 円	(2) 9 5 0 円	(3) 3 月 8 日 木曜日
---	-------------	-------------	-----------------

(3)完答)

5	(1) 2 個	(2) 3 通り	(3) 1 0 通り
---	---------	----------	------------

1

(3) $234 - 52 + 666 - 348 = 900 - 400 = 500$

(7) $712 + \square = 1230$
 $\square = 1230 - 712 = 518$

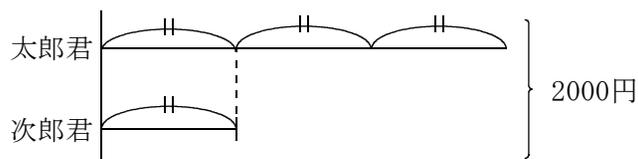
(8) $\square - 1198 = 2453$
 $\square = 2453 + 1198 = 3651$

(10) $5 \text{ L } 3 \text{ dL} - \text{㊦ L } \text{㊧ mL} = 3 \text{ L } 108 \text{ mL}$
 $\text{㊦ L } \text{㊧ mL} = 5 \text{ L } 300 \text{ mL} - 3 \text{ L } 108 \text{ mL}$
 $= 2 \text{ L } 192 \text{ mL}$

(11) $4 \text{ km } 128 \text{ m} - \square \text{ m} + 99800 \text{ cm} = 5 \text{ km}$
 $\square \text{ m} = 4128 \text{ m} + 998 \text{ m} - 5000 \text{ m}$
 $= 126 \text{ m}$

(12) 作ることのできる3けたの数を小さい方から順にならべると、123, 124, 125, 132, 134, 135, 142となる。

(13) 2人がもらうお金を線分図で表す。



よって、 $\text{㊦} \times 4 = 2000 \text{ (円)}$
 $\text{㊦} = 500 \text{ (円)}$
 太郎君がもらうのは、 $500 \times 3 = 1500 \text{ (円)}$

2

(1) 2, 0, 2, 0, 3, 0, 8の7個の数字のくりかえしになっている。左から数えて60番目にならぶ数字は、 $60 \div 7 = 8 \text{ (セット) 残り } 4 \text{ (個)} \rightarrow 0$

(2) 1セットに0は3個あり、あまりの4個の中に0は2個あるので、(1)より、 $3 \times 8 + 2 = 26 \text{ (個)}$

(3) 1セットにならぶ数字の和は、 $2 + 0 + 2 + 0 + 3 + 0 + 8 = 15$
 $80 \div 7 = 11 \text{ (セット) 残り } 3 \text{ (個)}$
 $15 \times 11 + 2 + 0 + 2 = 169$

3

(1) (図1)より、 $\text{㊦} \times 4 = \text{㊦} \times 1 + \text{㊧} \times 1$
 左右の皿から㊦を1つつひくと、
 $\text{㊦} \times 3 = \text{㊧} \times 1$ よって、3個。

(2) (図3)は、(図2)とくらべると、右の皿では㊧が1個増え、左の皿では㊦が2個増えている。よって、㊧1個の重さは㊦2個の重さと同じ。

(3) (1)(2)の結果を使うと、
 (図2)で $\text{㊦} \times 3 \times 2 = \text{㊦} \times 2 + \text{㊧} \times 1$
 よって、㊧1個の重さは㊦4個の重さと同じになる。
 $\text{㊦} \times 5 + \text{㊧} \times 2 + \text{㊧} \times 4$
 $= 3 \times 5 + 2 \times 2 + 4 \times 4 = 35$ なので、35個。

4

(1) $50 \times 6 - 100 = 200 \text{ (円)}$

(2) $31 \div 7 = 4 \text{ (週間) 残り } 3 \text{ (日)}$
 $200 \times 4 + 50 \times 3 = 950 \text{ (円)}$

(3) $2000 \div 200 = 10 \text{ (週)}$ より、
 $7 \times 10 = 70 \text{ (日目)}$ の日曜日に2000円になっているが、
 前の週の日曜日からのお金の増え方は下の表のようになる。

月	火	水	木	金	土	日
+50	+100	+150	+200	+250	+300	+200

 400円以上増えることなく、木曜日と日曜日の所持金が同じになるので、はじめて2000円になるのは、
 $70 - 3 = 67 \text{ (日目)}$ の木曜日。
 $1 / 67 = 2 / 36 = 3 / 8 \rightarrow 3 \text{ 月 } 8 \text{ 日}$

5

(1) Aが㊦, ㊧, ㊨の箱にボールを入れたことと、㊦の箱に入っているボールの個数が1個であることより、B, Cがボールを入れた箱は、2人とも㊧, ㊨, ㊩と分かる。よって、㊩の箱にはボールが2個入っている。

(2) Aが㊦に入れたとして、図に表す。

	㊦	㊧	㊨	㊩
A	○	?	?	?
B	×	○	○	○
C	×	○	○	○

 } ㊦, ㊨, ㊩から2つの箱に1個ずつボールを入れる。
 ㊦, ㊨, ㊩の箱には、(3, 3, 2)(3, 2, 3)(2, 3, 3)の3通り。
 B, Cが㊦に入れたとしても、個数は同じ様になるので、答えは3通り。

(3) 分かっている状況を、図に表す。

	㊦	㊧	㊨	㊩
A	○	?	?	?
B	○	?	?	?
C	○	?	?	?

 } A, B, Cは㊦, ㊨, ㊩から2つの箱に1個ずつボールを入れる。
 ㊦, ㊨, ㊩の箱には、(3, 3, 0)(3, 2, 1)(3, 1, 2)(3, 0, 3)(2, 3, 1)(2, 2, 2)(2, 1, 3)(1, 3, 2)(1, 2, 3)(0, 3, 3)の10通り。

配点：各4点×25